



令和4年8月22日

蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校
文責：校長 柿林 浩彦

第19号

伝統的な文化を学ぼう ～「いけばな体験」～

7月25日（月）、本校体育館において全校生徒対象に「いけばな体験」を行いました。

「いけばな」は日本の伝統的な文化であり、その歴史などを学ぶことによって、我が国の伝統文化に興味・関心をもち、多様な文化を尊重しようとする態度を育てることを目的に実施しました。

講師は、池坊 平松 しず子様と、平松様のいけばな教室の生徒の皆様にご多数来校していただき、実施することができました。

まず、「いけばな」の歴史から学びました。飛鳥時代の538年に仏教が伝来し、仏様に花を供える「仏前供花（ぶつぜんくげ）」が始まりとされること、聖徳太子が六角堂（頂法寺）を創建し小野妹子が初代住職となったこと、聖徳太子が沐浴された池のほとりに住んでいた僧侶が池坊と呼ばれ池坊からいけばなの名手が次々と現れたことなどを学びました。

そして、「池坊いけばな」のスタイルである「立花（りっか）」「生花（しょうか）」「自由花」を紹介していただいたあと、実際に「いけばな」を体験しました。初めて体験する生徒ばかりでしたが、みんなテーマをもって豊かな感性を働かせて自由に活かしていました。

楽しい時間を過ごすことができたとともに、講師の人々の思いや願いに触れながらより豊かに生きようとする態度を育てることもつながったと思っています。平松様をはじめ、講師の先生方、ありがとうございました。



呉市中学校ソフトテニス選手権大会が行われました

7月23日(土)～24日(日)、呉市テニス場において、呉市中学校ソフトテニス選手権大会が行われました。3年生にとっては中学校生活最後の大会となりました。今の3年生は入学当時から新型コロナウイルス感染症の影響を受け、部活動においても制限がありました。しかしながら、選手の皆さんは精一杯練習を重ねて、技術的にも上達し、精神的にも強くなってくれました。また、当日は暑い中、多くの保護者の皆様に会場へお越しいただき、応援していただいたことに大変感謝しております。男女とも入賞することはできませんでしたが、ペアで励まし合いながら懸命にボールを追う姿から成長を感じることが出来ました。3年生は今後それぞれの進路の実現に向けて精一杯の努力をしてほしいと思います。また、1・2年生は新チームとして新たなスタートとなります。これからの活躍を期待しています。



救急救命講習会を実施しました

7月26日(火)、救急救命講習会を行いました。この講習会は、応急手当と救急処置を学び、突発的な事故等に直面したときに適切に対応できる力を身に付けることを目的に行いました。講師として、呉市消防局東消防署蒲刈出張所の神垣様と小林様をお招きし、AEDの使用方法や心肺蘇生法などを学びました。AEDの使用方法や心肺蘇生法については、何回体験しても緊張しますし、実際に事故等に遭った場合に本当に対応できるのだろうかという不安もあります。だからこそ、何回も体験することが必要ではないかと考えています。実際に119番の通報訓練をするなど内容を工夫しながら、今後も継続してまいります。

